

# 平成27年度初任者・2年経験者研修(教育事務所研修)

東部教育事務所管内の初任者・2年経験者教員対象の教育事務所研修が、安芸総合庁舎にて行われました。平成27年度の対象者は、初任者18人、2年経験者15人でした。ピンと伸びた背筋、まっすぐ前を見つめる眼差し、受講者同士の実践交流の様子から教育に対する情熱、自身の教師としてのスキルアップを目指す意気込みが伝わってきました。研修で学んだことを、自校の実践につなげてくれることを期待します。

	第1回 (5月7日)	第2回 (11月5日)	第3回 (12月3日)
初任者	総合的な学習の時間の進め方 特別活動の進め方	総合的な学習の時間の進め方 複式教育の進め方	特別活動の進め方 道徳教育の進め方
2年経験者	11月19日		
	学級経営の実際 道徳教育の実際		



## 【受講者の感想】

### 〔初任者研修〕



○今日の研修では、教師自身がイメージを明確にもち、単元の構想を予めもっていることが大切であることを学んだ。これからは、しっかりとした単元構想をもち、実践に挑みたい。

○今回の研修を通して、教師は、子どもたちが自分の考えをもてるように活動を仕組むことと、子どもたちに任せて見守ることが大切だということが分かった。

○子どもの学びの量は、教師の取り組み方で大きく変わること気付いた。例えば、ワークシートの工夫、事前に準備された掲示物、1時間の見通しをもたせるミニボードの活用などである。

○今までは、道徳の授業をして、生徒の言動に変化が見られないと焦りを感じていましたが、教師自身の伝えたい思いを明確にもって道徳の時間を構成していきながら、生徒たちの変容を信じて待つことも意識しなければならぬと感じました。

○グループ協議で、様々な意見が出され、有意義なものになったと同時に、自分自身の教材研究の未熟さも痛感させられました。また、「板書」は、時系列で並べていくだけでなく、貼り物や中心部分を浮き立たせる構造的な書き方など改善しなければならない点が明確になりました。変化の激しいこれからの時代を生きる子ども達に、場面に応じて適切な価値を判断する力を身に付けさせたいと思います。



### 〔2年経験者研修〕



○今日の特別活動の研修を受けて感じたことは、やはり、人は人の中で人になるということです。学級活動で意見の異なる人と折り合いをつけたり、学校行事で集団への所属感や連帯感を味わわせたり、そうやって人は、個は、集団の力によって育つのだということを改めて感じました。

○研修を終え、学級経営に生かしていきたいことが二つあります。一つ目は、学級活動と行事を「つなぐ」ということです。これまで行事に向けて話し合い活動をし、目標を設定し、その目標を達成できるように環境を整えるという意識していました。しかしそれぞれを関連付け「つなぐ」という意識が低かったように思います。「つなぐ」ことが子どものよりよい成長に繋がることを忘れずにいたいと思います。

○特別活動は「行動が変わる」、道徳教育は「心・感情が変わる」ということがスタートであること、道徳と特別活動はつながっているという言葉が印象的だった。たくさんのことを授業で実践している同期の仲間へ刺激を受け、私も頑張ろうと思うと共に、今日教えていただいたことを授業に取り入れていきたいと思った。

